

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	洛和福祉会	代表者	矢野一郎	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 追加利用等の即時対応 自己決定の尊重 誰でも発言できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> 家族のニーズに合わせた環境 ご利用者と共同で行う手作り食の提供 希望の休みが取得し易い環境
事業所名	洛和小規模多機能サービス山科小山	管理者	影山 秀隆			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	2人	1人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議に職員1名ずつ参加してもらい地域との関わり方を学ぶ。	最初の2回は運営推進会議に管理者ともう1名の参加ができていたが職員不足により配置できず。	改善する意識を感じる。職員不足での不参加は介護士不足を言われている中では仕方ない部分もある。	新年度からの運営推進会議に管理者以外の職員を配置し運営推進会議の中身を知っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	お客様が来られた際に駐車に迷われることのないように表示する。	駐車スペースの確保（検討）に入ったが保留。現在はダッシュボードに表示するのみ。	夜間帯についてはプラチェーンで施錠して安全を確保。入り口付近にカメラ設置検討。	防犯のため入り口付近に向けて防犯カメラを設置していく。
C. 事業所と地域のかかわり	夏のラジオ体操だけではなく参加したり他の関わり方も検討していく。	場所の提供だけではなくイベントに足を運ぶことができたが参加するとまでは言えなかった。	引き続き地域と事業所の関わりが継続することで更に深まる。	年間行事（イベント）を把握することで定期的に人員を配置して参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	回覧板に目を通してもらうことで地域との関わりというものを意識していく。	ウイズ小山内での回覧を出来ているが事業所内での回覧までは至っていない。	管理者が回覧必要な内容であるか篩いにかけてながら他の職員にも目を通してもらう。	他の職員にも回覧することで地域への参加意識を高めてもらう。
E. 運営推進会議を活かした取組み	情報の開示と民生委員との関わりを構築していく。	運営推進会議の中で情報の開示（透明化）は図れた。民生委員の把握に努めていく。	以前は民生委員が会議に参加していた時期があったが内容から参加の必要性が来なくなってきたのでは。	ケア会議などに参加することで民生委員の把握と繋がりを持つことで運営推進会議への参加に結び付けていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域行事を前以て把握することで事前に人員の配置をする。	前年に比べたら参加することができた。新年度の行事を一覧で把握して計画的に人員を配置する。	ウイズ小山にAEDが設置されていないのは問題ではないか。	学区の防災訓練とAEDの設置を行っていく。